



▲行政評価委員会での審議の様子

策定の経緯
 各部署で前大綱の振り返りを行い、今後取り組むべき改革・改善事項の提案や、行政経営の視点により項目を抽出しました。
 また、改革にあたっては行政内の横断的な連携強化を図るため、改革テーマ(窓口改善、定住化促進、施設維持管理、統合型GIS)を絞り、庁内各部署から職員を集め、課題の情報共有を行い、今後の方向性について担当部署間を超えた議論を行いました。
 議論の結果をもとに、主に市民で構成される市の附属機関の行政評価委員会で審議を重ねていただきました。

第2次行財政改革大綱を策定しました

行財政改革の目的は、最小の経費で(経済性)、最大の効果(効率性)を発揮し、市民にとって真に必要なサービスの提供(有効性)を実現することです。

生産年齢人口の減少、超高齢社会の到来といった状況を迎え、予算や人員が限られる中で、必要な市民サービスを提供し、かつ安定した行政経営を続けるためには、行政組織の力をこれまで以上に発揮することと、状況に応じた経費(予算)の再配分が必要となります。

行財政改革大綱とは

国や地方自治体が行う改革の一つです。行政内部のやり方を変え、財政面での経費節減や、効率性の向上、市民の皆さんにとって本当に必要な行政サービスを提供することを目的としています。

市では、健全な行財政を維持するために、『第二次行財政改革大綱(以下、「大綱」)および『第二次行財政改革大綱実施計画(以下、「大綱実施計画」)』を策定しました。これは平成19年度から平成23年度までに行った第一次行財政改革大綱の成果と反省点を踏まえ、引き続き平成24年度から5年間、庁内一丸となって行政経営の効率化に取り組んでいくためのものです。

大綱には、行財政における改革・改善の基本方針を示し、取り組みの具体的方向性をまとめています。大綱実施計画には、改革・改善を推進していくための具体的な取り組み項目と、その目標を示しています。今回策定した大綱では、引き続き既存事業の見直しによる歳出減はもちろんのこと、必要な事業には財源や人員を配置し、将来に向けての準備や、市民サービスの向上を図ることを大きな目標としています。

また、今回掲げた改革項目を推進していくことは当然ですが、一方

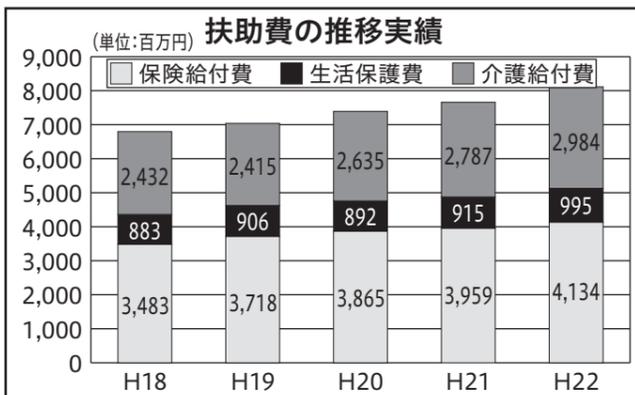
計画の構成

計画は、以下の三つの分野で構成されています。

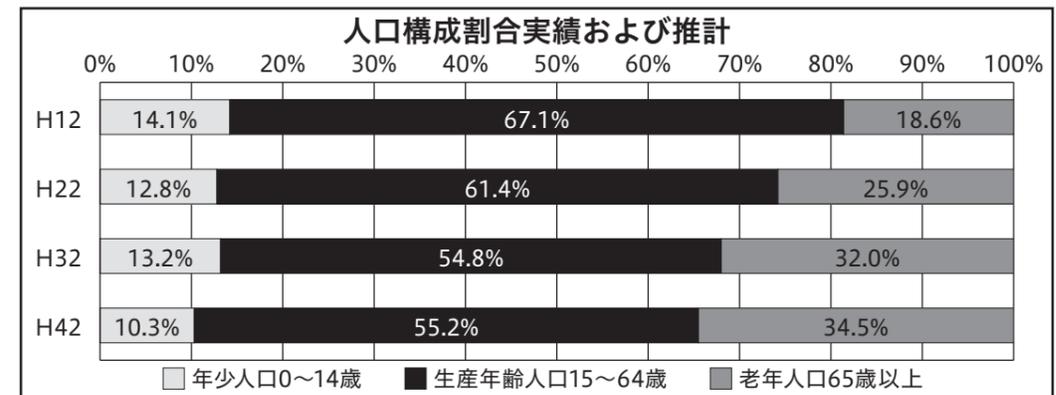
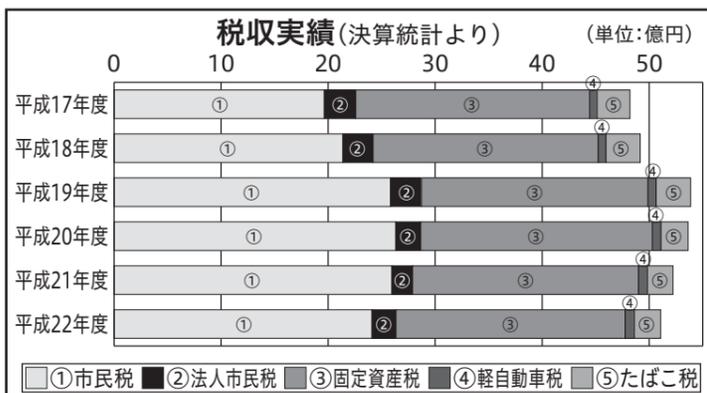
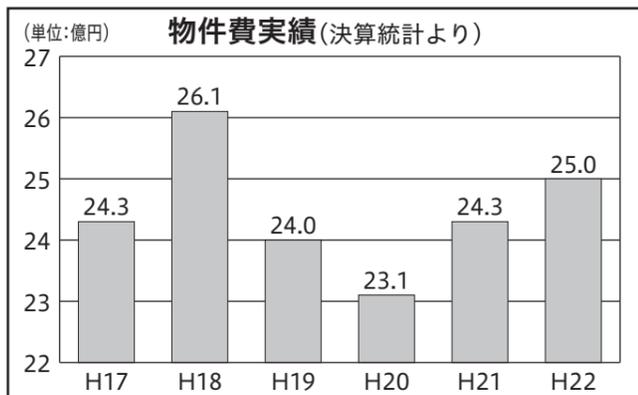
- 組織・システム
 - 財政・財産
 - 市民サービス
- さらに、大綱実施計画では、具体的に取り組む事項として、41項目を掲げています。また、その中の12項目を特に重点的に取り組む項目として位置付けています。この12項目に関しては、着実に進めるため、行政経営の立場から管理を徹底していきます。

重点的に取り組む12項目

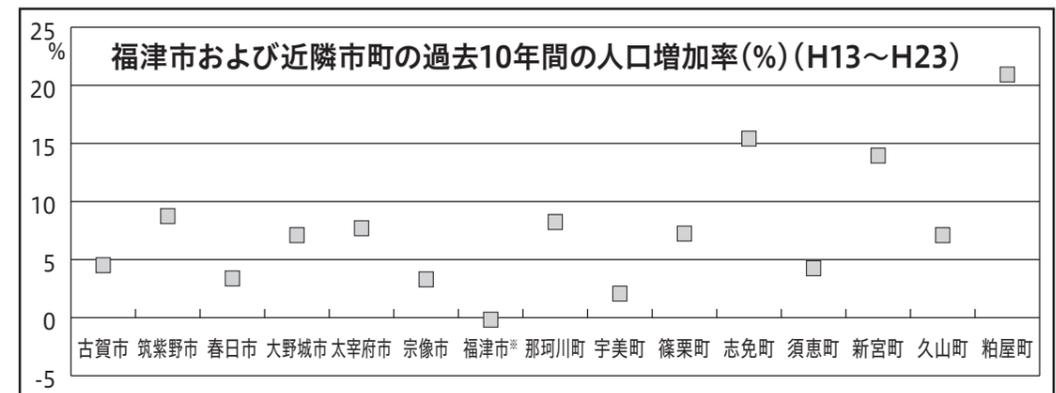
- 職員数・年齢構成の適正化
- 庁舎統合
- 庁内連携の強化
- 窓口改善
- ・定住化促進
- ・統合型地図情報システムの有効活用
- 保育所の再編
- 市立幼稚園のあり方についての検討
- 補助金の適正化
- 目標管理に基づく滞納処分の強化
- 公共施設マネジメントの導入
- 橋梁の予防保全措置によるライフサイクルコストの縮減
- 庁舎窓口の改善
- 住民票のコンビニ交付の実施
- 住民基本台帳カードの普及および汎用性の向上



左上图:合併以降の扶助費の推移。年々増加し、今後も増加が見込まれる。
 右上図:合併以降の市の物件費の推移。年々増加傾向にあり、今後も施設の維持改修費などによる増加が見込まれる。平成18年度の増加は、合併に伴う電算システムの改修に伴うもの。
 右下図:合併以降の市の税収の推移。平成19年の増加は、税源移譲によるもの。



で時代の情勢、ニーズに柔軟に対応しながら、市民サービスの向上に努めていきます。



左上图:国勢調査による人口の構成割合と、今後の推計割合。
 左図:福津市および近隣市町の過去10年間の人口増加率。福津市のみが減少。

市では、津屋崎千軒を活性化するために、この古民家を活用する運営者を募集しました。今回、新たな運営者が決まりましたので紹介します。

Teahouse miya

Q:なぜ津屋崎千軒古民家を運営してみようと思われたのですか？

A:数年前から福津市の陶芸教室に通っています。福津の豊かな自然や古い町並みなどに次第に引かれるようになり、いつかこのような場所で自分の店を持ちたいと考えていたところ、今回の募集を知り応募しました。

Q:どのようなお店にしたいですか？

A:ハーブティーには美肌効果があると言われていたり胃腸に優しいものなど、ブレンドの種類によりさまざまな楽しみ方があります。ご来店いただいたお客様がほっこりとした気分になるよう、古民家独特の和の雰囲気を生かしながら、おもてなしのカフェ、時間を忘れてくつろいでいただける空間作りを心掛けたいです。

Q:どんなメニューがありますか？

A:ハーブティーは1カップ350円から、ケーキセットは550円からとなっています。地元の素材を使用したランチも500円からご用意します。また、古民家でしか手に入らないレモングラスをベースとしたmiyaオリジナルのブレンドハーブティーや25種類のブレンド健康茶なども販売します。気軽にお立ち寄りください。

Q:オープンにあたり一言お願いします

A:津屋崎千軒一帯が盛り上がるように、地域の皆さんと一緒に協力してやっていきたいと思っています。



▲中宮好恵さん(右)と小形美幸さん

INFORMATION

【営業時間】

10:00~17:00

【休業日】

毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)

【場所】

津屋崎4丁目12-23

【駐車場】

専用の駐車場はありませんので、近隣の「まちおこしセンターなごみ」の駐車場をご利用ください。

【問い合わせ】

運営者/中宮好恵さん スタッフ/小形美幸さん
津屋崎千軒古民家 ☎52・4230



取り組みの内容について
重点項目として掲げる項目のうち、2項目について紹介します。

【庁舎連携の強化・窓口改善】
昨年まで実施してきた前大綱も取り組み項目として挙げており、窓口部門の一本化によるワンストップサービス(住民票、税証明の発行や、戸籍に関する届け出、福祉関係に関する手続きが一つの窓口でできる)の実現を掲げ、検討、取り組みを行ってきました。

すでに導入している他の市と比較、検討を行った結果、費用面や転出入者数などの条件から、ワンストップサービスを福津市に導入するとかえって非効率的ではないかと判断するに至り、導入を見送ることにしました。

一方で、平成19年度に市民課と国保年金課の統合を実施し、窓口の統合と人員の削減を行いました。今回の大綱実施計画では、何もかもが一つの窓口で行えるワンストップサービスという形だけに捉われず、分かりやすい窓口、ストレスを感じにくい窓口を目指す仕組みづくり、窓口部署間の連携の



▲平成19年度に統合した市民課窓口

強化に努めることとしました。これまで各窓口担当部署が個々で行っていた窓口改善の取り組みを部署を超え、窓口全体の改善として行えるようにします。

そのために、庁内それぞれの部署から窓口で対応している職員を集めた横断的な連携会議を定期的に行い、改善に取り組んでいくこととします。そして、個々の職員の能力向上は当然のこと、職員数が300人程度という連絡のとりやすい組織規模を生かし、庁内の連携強化による組織力の向上を強く目指します。

【公共施設マネジメントの導入】
市が保有する施設は、学校や公民館、庁舎、観光施設など数多くあります。これらの施設の維持補修に関しては、各施設管理担当部署が、計画的な維持補修計画を立てて順次補修を行っている施設もあれば、緊急な対応を随時行っている施設など、それぞれの判断で行っています。

また、施設の多くが昭和40年代後半から昭和50年代に掛けて建てられたため、今後10年から20年の間に耐用年数を迎えることとなり、大幅な改修、建て替えが一斉に必要となってきます。

大綱実施計画では、まずそれらの施設の統一したカルテを作成することとしています。それをもとに、全ての施設を対象とした維持補修計画を作成し、施設の整備、維持管理、修繕を実施することで施設の長寿命化を図り、建て替え・修繕・維持管理に係るトータルコストの削減を図ります。

また、施設の建て替えについては、当初の建設時における状況からの変化を正確に把握し、今後の需要や必要性を見極めた上で取り組みように努めます。

大綱および大綱実施計画は市ホームページおよび福岡・津屋崎庁舎の情報コーナーで閲覧することができます。

問い合わせ 市行政経営企画課 (福岡庁舎) ☎43・8121



▲昭和57年に建設された福岡庁舎



▲昭和47年に建設された津屋崎公民館